

飼料輸送の合理化に関する全国連絡会議議事概要

1. 日 時 令和7年5月27日（火） 13:30～16:00

2. 開催場所 三番町共用会議所 第3会議室

3. 議事概要

資料に沿って、農林水産省、運送事業者及び配合飼料メーカーから説明。その後、意見交換を実施

<意見交換の概要>

【飼料タンクの所有の状況について】

(運送事業者) 飼料タンクの所有者について伺いたい。

(飼料メーカー) ①メーカー所有の場合、生産者所有の場合、メーカーが設置したタンクをリースの途中で生産者に所有権を移転している場合と、ケースバイケース。

②飼料会社の自社資産又はリース資産であり、生産者に無償貸与している。減価償却期間が切れた後、無償譲渡の形で生産者にお譲りしている。契約上リース期間中であってもタンクの管理は、生産者に善管注意義務を負っていただいている。

(運送事業者) タンクが倒れてドライバーが亡くなるという事例もあり、ドライバーがタンクに上らなくていいようにしたい。遠隔でタンクの蓋の開閉ができるようになれば、かなりドライバーの確保が容易になると考えている。畜産を守るためにも早急に取り組んでいただきたいと考えている。

(農林水産省) メーカー所有のタンクについては、メーカーとしてもしっかり管理をしていただくことをお願いしたい。また局長通知に記載の通り、生産者の方々にタンクの管理者が誰なのか改めて確認してもらうことをまず徹底していただきたいと思っている。その上で、補修の必要や場合によっては更新の必要があれば再度メーカーにリースで入れてもらうなど様々なパターンがあると思うので、ぜひお願いしたい。また、運送事業者側からも、危険箇所の情報があれば、運送事業者側から生産者と情報共有できる体制づくりをお願いしたい。

【飼料タンクの仕様変更について】

(運送事業者) 既存のタンクに紐をつけて下から引っ張って蓋を開ける機構を設置した事例があるが、それを進めていただければドライバーは安全に安心して運ぶことができる。ドライバーが集まらない一番の原因であるタンクに上る、添加剤をバルク車の上で投入する問題を早急に解決していただきたい。それが解決すれば大半の課題は解消できると考えている。

(飼料タンクメーカー) 既設のタンクでも後から蓋の開閉器や梯子の後ろに落下防止の背かごを設置することは可能。タンクの残量確認のために、バルク車のノズルの先端に CCD カメラを付けて画像で中を確認するということも出来る。

【飼料輸送の環境について】

(運送事業者) 農場までの道が狭く回るところがない農場や、山の上に作られている農場も多い。フルトレーラーで配送しても下で切り離して往復するしかなく、非常に非効率な配送を余儀なくされている。これが飼料輸送のラストワンマイルの現状。

他品目の物流では、手積み手降しなどはほとんどなくなり、パレットの使用で状況が変わってきたが、飼料輸送だけは形態が 50 年変わっておらず、その間にどの会社でも落下や事故等が発生していると思う。労災事故についても、広い農場で点在するタンクからドライバーが落下して処置や対応が遅れることを危惧している。タンクではなくコンテナ形式などに変えていけないのか。

(生産者団体) タンクをなくすことは不可能だと思うが、変えられるところから出来ないかとも考えている。

(運送事業者) タンクからの落下事故は労働安全上、改善を求められる。労災事故の背景と事故を無くすためにはどうすればいいか、みんなで考えて原因を一つずつ解消していかなければならないと考えている。

(厚生労働省) 法令上の建付けでの話であるが、労働安全法上は事業者が措置を講ずることになっており、高所作業をトラック業者の労働者が行う場合はトラック業者に安衛法上の措置義務が生じる。ただ、設備的な対策も含めた転落防止措置について、トラック業者がすべてを行うことが難しいことは明らかであり、労働安全衛生法令上、誰の義務かという話とは別に、関係者でしっかりご議論いただくことが重要だと考える。

(農林水産省) 農場への道路についてはなかなか難しい面があるが、一方で、青果物などの物流の関係がかなり切迫している中で 11 型パレットの普及を業界挙げて改善できたところであり、ストックポイントなどの活用など、やり方の工夫は考えられるのではと感じたところ。一朝一夕では解決できないが、できるところからやっていくことが必要と担当課として思っている。

そういう中で、まずはタンクの所有者、管理者を明確に把握していただき、今できるところを改善していただければと思う。またタンクの開閉装置などについては、国の方でも予算を確保しており、予算的には多くはないが、積極的に活用いただければと思う。

生産者団体の皆様は、各地域で注意喚起を含めて現状理解を進めていただくことが重要だと感じる。すぐに解決できるもの、なかなか解決できないものがあるが、しっかり進めていくことが重要。情報共有しながら全国的にしっかり進めていかなければならないと思う。